



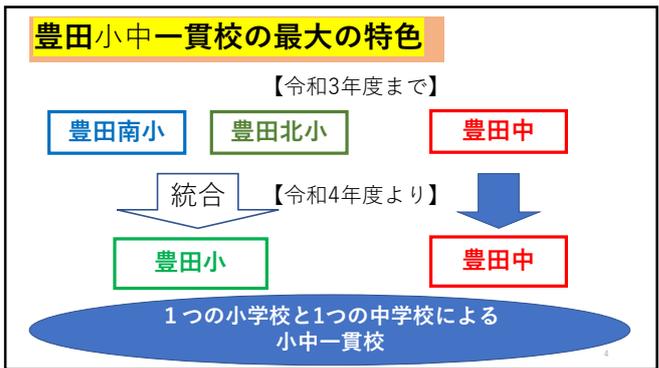
小山市「魅力ある学校づくり」の取組

令和3年度
魅力ある学校づくり（いじめ・不登校）検討委員会の提言

- I 他者との関わりから自分を肯定的に捉えることができる機会の設定
- II 授業を通じた自己有用感を育む取組の実践
- III 「他者と関わる意欲」を高めるための取組の工夫

児童生徒が関わる場・一人一人に活躍の場・認め合う他者による評価の場の設定を

絹義務教育学校	←→	豊田小中一貫校
<ul style="list-style-type: none"> • 校長は一人 • 教職員組織 1つ • 義務教育 9年間の学校教育目標設定 • 修業年限 9年 • 教育課程の区分は前期 6年間後期 3年間 • 原則として小中両方の免許を併有していること 		<ul style="list-style-type: none"> • 小中それぞれに校長、教職員組織 • 9年間の教育目標を設定、系統性を確保した教育課程を編成・実施 • 小学 1～6年と中学 1年～3年 • 小学校と中学校における教育を一貫して施すためにふさわしい運営の仕組みを整えることが要件 • 所属する学校の免許を保有 • 学校運営協議会の合同設置



学校教育目標

令和4年4月8日
豊田小中一貫校
開校セレモニー

思いやりのある子ども
自ら考え学ぶ子ども
たくましい子ども
ふるさとを大切にすることも

めざす子ども像の統一

- 自律的に行動し、よりよく人と関わる子ども
- 自ら考え学び、豊かに表現する子ども
- 地域を大切にしながら、夢に向かって挑戦する子ども

【根拠】
豊田の強み・弱みを考えるワークショップ、学校評価結果、各種検査等結果、アンケート

その他の様々な教育活動の連携強化

- 職員会議・職員研修の日程をそろえる
- 児童生徒指導部会を同じ曜日に設定する
- PTA本部役員会、地区理事会の会議日をそろえる
- 豊田スタンダード（学習や生活の決まり）を強化する
- 学校運営協議会を2校で1つの協議会にする 他

そろえることで
小中一貫教育の
メリットを模索



今後、変更、
改善も視野に
とりあえず
やってみよう！

13

教職員の意識改革・同僚性の向上

●●中の宿題でした！

令和4年度のスタートする豊田小中一貫校の教職員にすでになっただけで、具体的なことを想像し、列挙する

自由に情報交換してください

・今年度、小中で一緒に行いたい教育活動はありますか

自律 夢 地域

様々なワークショップで心をつなぐ

14

絹義務教育学校の取組を参考に

- 地域と連携したふるさと学習
- バスを利用した登下校
- 小中合同行事の持ち方
- 学校運営協議会の運営

他

伝統工芸
結城紬体験



15

豊田ならではの学びを創る

豊学

ほうがく

- 豊田地区の地域を知る学習をすること、また、3つのキーワード「自律」「夢」「地域」につながる学習をすること。
- 総合的な学習の時間を中心に、各教科や学級活動、学校行事などで実践する。
- 9年間を継続して実施する。

◎自律・夢・地域を実践していくのが「豊学」
自律・夢・地域につながる力をつけていくのが「豊学」

16

豊学の実践例

- 中学2年美術科 「豊田道五十三次」



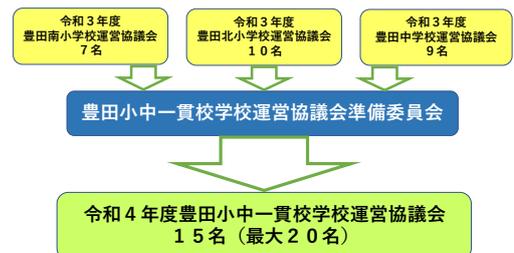
閉校になった母校（豊田南小）



J R 両毛線 恩川駅

17

小中で1つの学校運営協議会

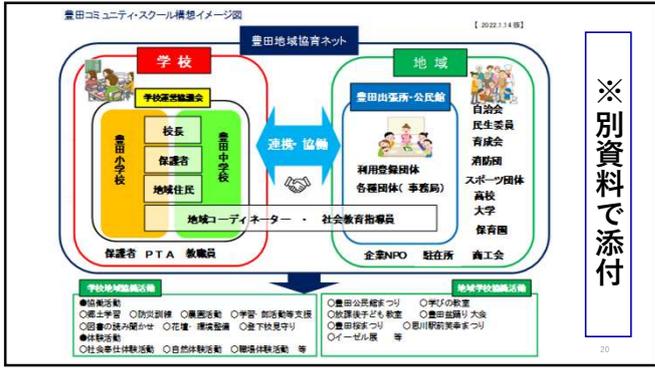


18

豊田小中一貫校バロウアップアクションプラン 2022

教育目標	学校での取組	子どもでの取組	保護者での取組	地域での取組
思いやりのある子ども	・ いじめに関する教育を徹底する ・ 異年齢集団の活動や行事を実施する	・ 友達や家族に優しくする ・ 進んであいさつをする ・ お手伝いを覚える	・ あいさつを大切にすること ・ お手伝いや頑張ったときに褒める ・ 人の話をよく聴く	・ 地域あいさつ運動の推進 ・ 学校ボランティアへの積極的な参加 ・ 地域の連携教育推進
自ら考え学ぶ子ども	・ 小中一貫教育を充実する ・ 児童生徒が主体的に企画運営する機会を創出す ・ 学習環境を整備する	・ 話をよく聞く ・ たくさん本を読む ・ 読書の自立学習をする ・ 新しいことに挑戦する	・ 学習環境を整備する(時間・場所・教材の整備等) ・ 読書会を実施する ・ 親子対話を大切にすること	・ 地域人材の発掘、情報の共有、積極的な活用 ・ 教育活動の連携協力 ・ 地域/ゲームユーザー
たくましい子ども	・ 生活指導、健康、安全、食育等を充実させる ・ 教育相談を充実する ・ 安全な環境作りを始める	・ 時間を守って生活する ・ 好き嫌いなく食べる ・ 楽しく運動する ・ きちんと睡眠時間をとる	・ 健康、食事、整理整頓などルールを定める ・ 外出びや運動を奨励する	・ 子どもひなの家庭知 ・ 食生活習慣の改善指導 ・ 豊下校長の守り ・ 地域ぐるみの健康教育
ふるさとを大切にす子ども	・ ホームカミングデー等、地域と交流の場を設け実施する ・ 「豊学」を柱として地域とのつながりを強化する	・ ボランティア活動や地域の行事に積極的に参加する ・ 小中の交流活動に積極的に取り組む	・ 地域の行事やボランティア活動等に親子で参加する ・ 地域の方へのあいさつを親子で練習する	・ 地域ボランティア活動への各世代の積極的な参加 ・ 地域行事の企画運営と広報宣伝、学校との連携
進路方案	●学校・学年・学習経営計画への位置づけ	●個人や学年のあて ●児童会・生徒会の取組	●PTA活動 ●活動等の発行	●豊田コミュニティスクール ●進路への情報と協力
詳細の方法	●教職員の自己評価 ●授業評価 ●外部アンケート	●児童生徒向けアンケート	●保護者向けアンケート	●地域向けアンケート

※別資料で添付



※別資料で添付

日課の工夫

豊田中学校の日課		豊田小学校の日課	
日課表 (A日課)		日課表 (A日課)	
とよたいむ	8:00 ~ 8:20	短学活	8:05 ~ 8:15
短学活	8:20 ~ 8:30	第1校時	8:15 ~ 9:00
第1校時	8:35 ~ 9:25	第2校時	9:05 ~ 9:50
第2校時	9:35 ~ 10:25	とよたいむ	9:55 ~ 10:10
休憩	10:25 ~ 10:35	休 憩	10:10 ~ 10:30
第3校時	10:35 ~ 11:25	第3校時	11:25 ~ 12:10
第4校時	11:35 ~ 12:25	第4校時	12:10 ~ 12:50
給食指導	12:35 ~ 13:15	給食指導	12:50 ~ 13:15
休 憩	13:15 ~ 13:40	清掃	13:00 ~ 13:15
第5校時	13:40 ~ 14:30	休 憩	13:15 ~ 13:35
第6校時	14:40 ~ 15:30	第5校時	13:40 ~ 14:25

3校時と5校時の開始時間をそろえる

小学校教諭がTTとして個別指導

- ・ 中学1年生の数学の時間を(週4時間)
- ・ 2人の小学校教諭が2時間ずつTTとして授業支援に入る

- ・ 生徒の安心感
- ・ 小中相互の授業改善
- ・ 個別指導の充実

教職員の資質向上

- ・ 多彩な合同研修会や部会検討会
- ・ 行事の交流
- ・ 授業交流

小学校と中学校の組織文化の違いを乗り越える

小中一貫教育をダイレクトに経験できる

児童生徒指導の連携

情報の共有を素早く正確に

- ・ 毎週火曜日に両学校で部会開催→その日のうちに情報交換
- ・ 定期的な「教育相談連絡会議」の実施(養護教諭が主催)
- ・ 小中合同のケース会議

教育計画 児童生徒児童指導計画 9年間で育成する「豊田正義集団」

隣接する小中一貫校のメリット (1学期を終えて感じた成果)

- 多様な活躍の場や異学年との交流の機会を設定しやすい。
- 多様な教職員と児童生徒とのかかわりの場を設定しやすい。
- 状況や必要に応じて、柔軟に交流を増やしたり変更したりできる。
- 小学生が中学生の活躍の様子を直接見るにより、あこがれを持ったり、将来の自分の姿を想像したりできる。
- 中学生の良いことを小学生が真似をする。真似をされるから中学生は責任ある行動をとろうとする。
- 小学生が義務教育のゴールとなる中学校生活を理解して入学する。
→中1ギャップの解消が期待できる。

25

令和4年度の実践～見えてきた課題

- 乗り入れ授業の限界（小規模校の現実）
- 小学校と中学校の文化を乗り越えるむずかしさ
(例) 小学生のバス通学与学校行事の調整
PTA組織運営体制の違い
- 教職員の業務削減にはなっていない。むしろ意思の疎通に時間が必要。

26

豊田スポーツフェスタから感じたこと

- 「競う」より「交流」が目的
- 各学年個人走と表現の2種目
- 全学年で「豊田音頭」
- 生徒会、児童会役員が運営
- 保護者は家庭で1名参観
- 土曜日に実施
- 小学生のバス下校の関係で、11時に終了。

- もっと中学生の活躍が見たい
- もっと力いっぱい競技したい
- もっと中学生同士で競い合いたい

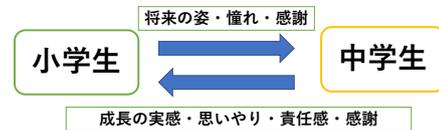
中学生はこれからも縁の下の力持ち的な活動をしていくのですか

27

魅力ある小中一貫校に

○小学校・中学校の特性や独立性を保ちながら、小中一貫教育を推進する。

小中が交流することで教育効果を高める活動は何か



28

今年度後半に取り組みたいこと

- ロング昼休みで一緒に遊ぼう
- 作品や振り返りの交流をしよう
- 学校課題に小中で取り組もう
- 学校評価をリニューアルし、小中一貫教育について評価を

つなげる
そろえる

分ける

独立する

増やす

広がる

29



現在の小中一貫教育の運営組織

令和5年度に向けて豊田ならではの組織へ

30

地域の子供たちが集まる場所だから
「よいこと」がたくさん生まれてきた

- 「思いやり」の行動が増えた
- 「あいさつ」が活発になった
- 地域の力が集中するようになった

地域ぐるみで子どもを育てる豊田だからこそ
小中一貫校が誕生した

